

人を見つめ、社会へ羽ばたく

福祉コミュニティ学科

COMMUNITY DEVELOPMENT

CLINICAL PSYCHOLOGY

臨床心理学科

well-being



FACULTY OF SOCIAL POLICY
& ADMINISTRATION

well-being

基礎力 × 現場力

— あたらしい社会を築く、スペシャリストを育成 —

健康で幸せな暮らし「ウェル ビーイング」。

現代福祉学部では、この言葉の実現を教育理念とし、

人々が笑顔で暮らせる社会を築く人材を育成しています。

ここでの学びは、あなたの将来において確かな力となることでしょう。

福祉コミュニティ学科

2つの学科が、互いの専門性をより深め、
幅広いゼミと実習で、基礎力と現場力を養います。

臨床心理学科

成長する、未来をつくる。
現代福祉学部の4年間。

4 年次

将来につなげる

卒業論文制作、資格取得
受験、就職活動など、目標
進路に向かっていきます。

3 年次

専門分野を磨く

スペシャリストとしての実
践力を育てます。大きな成
長へつながる時期です。

2 年次

専門性を学ぶ

専門的人材、スペシャリ
ストとしてのしっかりとし
た基盤をつくります。

1 年次

基礎を養う

コミュニケーション・スキ
ル、情報リテラシー、論理
的思考力などを習得し、
知識と視野を広げます。



→ the future

何を想い、この学部を選び、
何を想い、ここで学び、
何を想い、羽ばたいていったのか。

現代福祉学部創設以来、たくさんの卒業生が
社会のさまざまなフィールドに羽ばたいていきました。
専門分野、行政、企業で活躍する人、
大学院に進み研究に励む人などさまざまです。
卒業生に、学生時代そして今のお仕事について
語ってもらいました。



牛ノ濱 裕美さん
2004年卒業
社会福祉士
社会福祉法人賛育会勤務

01

「社会福祉士として、地域の力となる」 それが私のライフワークです。

幼い頃、母が祖父の介護をしていました。大変そうな母を見て、何もできない自分に、心を痛めていました。成長し進路を考えた時、社会福祉士という資格があることを知り、現代福祉学部への進学を決めました。資格を取り、人の役に立ちたいと思ったからです。

現代福祉学部では多くのことを学びました。ゼミや授業で自分なりの意見を話すことは、伝える力を養い、実際の現場で学ぶ実習では、行動する力を培ってくれました。内気でおとなしかった私にも積極性がついたと思っています。

大学卒業後、特別養護老人ホームに就職を決め、今は地域包括支援センターの社会福祉士として忙しい毎日を送っています。主に介護が必要な高齢者とその家族の相談窓口として、制度やサービスの情報提供を行い、認知症や介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らしていけるよう、地域の住民とのネットワーク作りにも取り組んでいます。現代福祉学部で得た、知識、コミュニケーション能力、行動力をベースに、少しでも地域の力になればと考えています。高校時代の恩師から、「よき師、よき友、ライフワークを見つけなさい」と言われて送り出され、幸運にも私はその3つを法政大学時代に見つけることができたと思っています。

「やりたいことに挑戦する」 学部の自由な環境が、 商社で働く力を育ててくれました。

学生時代、私がさまざまなことに挑戦・実行できたのは、「やりたいことがあるなら、やってみればいい」ゼミ担当の先生のお言葉と、現代福祉学部の自由な環境があったからこそだと考えています。

学生時代には海外留学を経験すべきと考え、その資金を得るためにホテルでアルバイトをしました。私の働いていたホテルでは外国人のお客様も多く、接客に必要なコミュニケーション力のみならず、語学力をも磨くことができました。悩んだ末、留学先はアメリカのサンディエゴを選択。そこで多くの経験と生涯の友人を得たことは私の人生において、大変貴重な財産です。

世界を飛び回る仕事がしたい。その想いから就職先は商社を選び、現在は、携帯電話をはじめ、電子製品には不可欠な半導体を扱うチームに所属しています。取引先である半導体組立メーカーの拠点はほとんどが海外。学生時代に培ったコミュニケーション能力を活かし、中国、韓国、台湾、タイ、シンガポール、フィリピン、アメリカ、メキシコ等をベースに仕事をしています。今日もこの後、上海へのフライトが控えています。自身の“考え”と“実行力”次第で未来は如何様にも変えられます。その“考え”に基づき、“実行”できる環境がこの学部にはあります。



三塚 智史さん
2010年卒業
全日空商事株式会社勤務

02



馬場 裕子さん
2011年卒業
株式会社横浜銀行勤務

03

大学で人とつながる喜びを実感。 銀行の窓口から たくさんの笑顔を広げています。

子どもの頃、祖母が入院したことがありました。お見舞いに行くと、喜んでくれる祖母を見て、自分もうれしかったことを覚えています。そんなことがきっかけで現代福祉学部への進学を決めました。大学の4年間は本当に楽しく、すばらしいものでした。テニスサークルに所属し4年間を通じて、試合、合宿などたくさんのイベントがあって、毎日が充実していました。緑豊かな多摩キャンパスで過ごしたゆったりした時間は大切な思い出です。

人とつながる喜びを感じることができた現代福祉学部時代。実習などで「ただ話を聞いてもらえただけで、楽になった」と言われた時はやはりうれしかったです。それが人と接する仕事をやりたいと思ったきっかけです。今は、銀行で資産運用相談の窓口業務を担当しています。親身になってお客様のお話を聞いて、最善のアドバイスをする仕事は、学生時代の研修、実習経験が大きな力になっています。まずは笑顔で。これも心理学で学んだことです。

大学時代は自分の興味や関心、可能性に気づくことができる時期だと思います。素敵な教授、仲間と出会えた私は、この学校、この学部を選んで本当に良かったと思っています。



渡部 絵未さん
2006年卒業
医療ソーシャルワーカー
医療法人社団永生会永生病院勤務

05

医療の現場でソーシャルワーカーとして 困っている人に寄り添い、助けていきたい。

大学時代の一番の収穫は、研修や実習、ボランティアを通じて、あらゆる世代の利用者や職員の方々とかわりを持つことができたことです。その時の現場での経験から、この道を目指すようになりました。

現在は、医療ソーシャルワーカーとして、病気や事故で病院に訪れる患者さんや家族に対して、問題、心配事があれば相談に乗り、心理面、医療面、経済的なことをトータルにアドバイスをしています。その人にとって何がベストなのか、一緒に問題の解決策を探していきます。現代福祉学部で経験した多くの研修の中で利用者と信頼関係を築くという課題に取り組めたのは、ソーシャルワーカーとしての基礎となっていると思います。

困っている人に寄り添い、助けていくこの仕事に、やりがいと満足を感じています。大学の友人には、同じ分野で働く人も多く、良き相談相手として、卒業後もいい関係が続いていることは大きな財産です。

大学時代の経験は、いろいろなことがつながっているのも、無駄なことはないと思います。もし将来の目標が見えてこなくても、さまざまな経験の中、自分が何をしたいのか？きっと大学時代に見つけられると思います。

よりよい社会を形成する力になりたい。 国立大学職員としての私の目標です。

大学生活では生涯の友・師、一生支えあえる仲間、自分の居場所を見つけることができました。卒業してから6年がたちますが、大学の仲間や先生、フィールドワークで出会った地域の方と今でも交流があります。大学で学んだ「まちづくり」。それを活かし、地域社会の発展に貢献したいと思ったこと、よりよい社会を形成するための人材育成をサポートしたいと思ったことがきっかけで、国立大学職員を目指しました。努力が実り、卒業後は国立大学法人東北大学の職員となることができました。現在は、放送大学学園へ出向をしています。去年は、文部科学省に出向し、産学官連携業務に携わり、主にさまざまな大学の研究成果を必要とする企業へ橋渡しをする仕事をしました。国立大学職員は、いろいろな機関へ出向する機会があり、その都度、業務も変わるので大変ですが、現代福祉学部で体験した実習・研修経験により育むことができた対応力や調整力、コミュニケーション能力を活かして仕事に励むことができています。現代福祉学部は私にとって家族のような存在です。大学時代は、多くの人と出会った、成長の時間でした。大学での4年間は自分の意思のもと、自由にできる時間。だからこそ、将来は？自分とは？について大いに悩んで、迷って、それを楽しんでもらえたらと思います。



笹原 央さん
2007年卒業
国立大学法人東北大学勤務

04

児童心理司は、これからの社会に ますます重要な職業だと思っています。

大学時代に印象的だったことは、海外福祉研修です。当時の研修国はデンマークとイギリスで施設見学やお話を伺いました。たくさんの発見、出会いがあり、北欧、ヨーロッパの福祉事情を学べたすばらしい研修でした。滞在中にアメリカでの同時多発テロ(9.11)が起こったことも印象深く、平和の重要性を強く実感したことを覚えています。卒業後、一度会社員として働きました。社会に出て、社会と個人のつながり、対人関係の重要性を改めて実感するとともに、学生時代から興味があった、児童・思春期の発達、心理特性をもう一度勉強し、臨床心理士として働きたいという思いが募りました。

退職後、法政大学大学院人間社会研究科臨床心理学専攻に入学。大学院在学中は乳幼児期の関係性の治療を専門とする機関にて実習をさせていただき、その後、その経験を児童心理司として活かしたいと思い、現在の職務に就いています。

今、児童心理司として子どもたちが抱える多くの問題に対応しています。児童心理司は、心理学に基づき、子どもたちの目線に立ち、非行、いじめ、家庭内での虐待などさまざまな問題を家族と一緒に改善していくのが使命です。扱う問題は社会にとって大きなものですが、だからこそ大切な職業だと思っています。



藤林 亮平さん
2005年卒業
児童心理司
相模原市児童相談所勤務

06

福祉コミュニティ学科

COMMUNITY DEVELOPMENT

福祉分野や地域社会リーダーの
育成を目指しています。

石井享子 教授

研究領域: ケアマネジメント論、保健福祉学、ウェルビーイング

現地に出かけ、人と出会うことが
重要な学びとなります。

岡崎昌之 教授

研究領域: まちづくり、地域経営

PROFESSOR INTERVIEW

●福祉コミュニティ学科とはどんな学科なのか？

【石井】健康で幸福な暮らし=Well-beingを実現する福祉コミュニティを創造するために、将来の福祉分野や地域社会リーダーの育成を目指しています。福祉分野の基礎的な知識や技術を学び、障害福祉、児童福祉、高齢者福祉、地域格差への福祉的な支援など多角的にソーシャルワークを学びます。
【岡崎】福祉分野も時代や社会の変化に伴い変わってきています。現代社会では従来の単純に福祉の分野とはちがう仕組みづくりを考える必要が出てきました。私が担当している地域づくり分野では、支援を必要とする人たちに、地域社会でどんなサポートができるのか、またどんなまちづくりをすれば、弱者にやさしいまちができるのかを考えていきます。

●具体的にどんなことを学ぶのですか？

【岡崎】地域づくり分野においては実際、現地に出かけ、人と出会うことが重要な学びとなります。バリアフリーのあり方を調べるため、実際に観光地に車椅子を持っていった学生もいます。地方自治体でのインターンシップで、まちづくりを学んだりもします。実践的なアプローチ、体験すること、直接触れることで、多くのことが学べるのです。

【石井】豊かな選択肢の中で自由に、自分の関心や将来の進路に向けて、幅広く福祉コミュニティの基盤となる科目

履修が可能です。公務員、一般企業に進む学生も多いですが、社会福祉士、精神保健福祉士などの国家試験受験資格も取得可能です。さらに多様な福祉現場、学校、医療機関での演習や実習が充実しています。人間の理解、組織マネジメント、地域社会の理解と参画、福祉分野での専門職の知識や技術、態度を学べるように少数制の教育を実施しています。

●学生についてはどんな印象を持たれますか？

【岡崎】行動力があり、発想力を持った学生が多いですね。福祉というフィールドを選ぶだけあって、思いやりを持った人間が多いと思います。
【石井】他者への思いやりがある学生が多く、物怖じしない面と慎重な面の両面を持っています。ボランティア活動にも積極的に参加している学生が多いことも特徴の一つと言えます。

●受験生に向けて一言

【岡崎】幅広く社会的な基礎力、コミュニケーション能力をしっかりと身につけることができる環境です。そして、狭い規範に収まらない自由な気持ちで学生時代をすごしてもらいたいですね。

【石井】卒業時にはWell-beingを実践していく人に育てて欲しいです。現代福祉学部は他に類のない極めて珍しい自由と進歩を大切にしたい所です。



複雑な現代社会において、新たな課題・問題は次々と生まれます。
福祉コミュニティ学科では、福祉・地域づくりを中心に、
これからの時代に必要な問題解決力・実践力を育みます。

福祉・まちづくりを社会に活かすゼミナール

伊藤 正子ゼミ

社会的排除と
ソーシャルワーク



社会的排除をキーワードに、社会との関係性から拒否される人々(特定の属性を持つため差別される外国人。不治・難病・感染症といった患者等)の問題と社会福祉援助について検討していきます。

水野 雅男ゼミ

市民セクター(NPO)による地域づくり
「新しい公共」の可能性と課題
を現場で探る



公共サービスや地域づくりの新たな担い手として、各種NPO等市民セクターが注目されています。ゼミでは、具体的なフィールドにおいて、市民視点から地域の計画、運営を学びます。

宮城 孝ゼミ

福祉社会の未来をデザインする
—シンク・グローバル アクト・ローカル—



「地球規模で考え、地域レベルで行動する」をキーワードに、少子高齢化など国内外の将来の変化を予測し、誰もが自己実現できる福祉社会を構築するための課題と方法を、フィールドワークなどを通して探ります。

【主なゼミナールのテーマ】●都市・ニュータウンにおける地域再生の実践 ●地域の歴史・文化を活かしたまちを歩く ●市民セクター(NPO)による地域マネジメントを学ぶ ●子育て・子育ての社会的な不平等と家族への援助 ●当事者・家族から学ぶ社会福祉援助のあり方 ●高齢者の生活世界から高齢者福祉のあり方を考える ●社会的排除とソーシャルワーク

実践力を養う現場での実習

さまざまな場所で行われ、人と出会う実習は、スキルや経験だけでなく、あなたの人間力を養う大きな力となることでしょう。

ソーシャルワーク実習



大学で学んだソーシャルワークの技術を、実際の現場で理解し、実践することによって、ソーシャルワーカーとして必要な技術、知識、価値観を習得することを目的とした実習です。

コミュニティスタディ実習



中央官庁・地方自治体、企業、NPOなどで働くことを希望し、地域づくりに関心を持つ学生を全国各地の自治体やNPOに派遣し、実践を通して技術や価値観を習得することを目的とした実習です。

企業・自治体インターンシップ

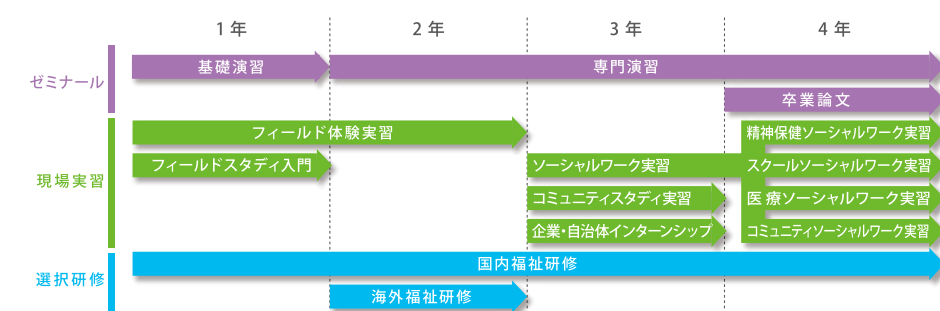


将来の進路を考えるために、企業や自治体等の職場で、実際の仕事、業務を経験し、働いている人の考え方、仕事の進め方などについて学び、経験することを目的とした実習です。

【主な実習】●ソーシャルワーク実習 ●コミュニティスタディ実習 ●企業・自治体インターンシップ ●精神保健ソーシャルワーク実習 ●スクールソーシャルワーク実習 ●医療ソーシャルワーク実習 ●コミュニティソーシャルワーク実習

演習・実習等の流れ

知識を学ぶだけでなく、学外のフィールドでの社会体験を通じて福祉・地域づくりを学べる、ユニークな実習を多数用意しています。



在学生 VOICE!

現代福祉学部在学生に聞きました

Q.1 入学志望動機

Q.2 今、学んでいること

Q.3 将来の夢

Q.4 受験生に向けて



高木 智史 さん
4 年

Q.1 高校生の時に読んだ保井先生の著書を読み、先生のもとで都市のまちづくりを学びたいと思い志望しました。

Q.2 都市部でのまちづくりについて。

Q.3 都市のまちづくりを通して、世の中に自分の生きた証を残したい。

Q.4 少しでも興味ある分野を見つけたら、調べてみてください。将来のイメージがわかります！



川村 睦美 さん
4 年

Q.1 障害を持つ同級生にもっと自分ができることあったのではないかと考え、福祉を学びたいと思ったからです。

Q.2 学校で学んだ制度や思想を照らし合わせて「福祉とはなにか」を学んでいます。

Q.3 福祉に携わる仕事でたくさんの笑顔に出会えます。

Q.4 ここで、お互いを高めあえる仲間に出会えると思います。がんばってください。

Q.1 自然に囲まれたキャンパスに魅力を感じました。また、福祉と心理学に興味がありました。

Q.2 「視覚障害の生活」について学んでいます。手話の講習会やろう学生懇談会に参加し、学ばせていただいています。

Q.3 楽しい毎日を過ごしたいです。

Q.4 受験は大変だと思いますが、楽しい大学生活が待っていますよ！



荒木 恵実 さん
4 年



大橋 一元 さん
3 年

Q.1 ボランティアの参加がきっかけで福祉の分野に強い関心があったから。

Q.2 生きる喜びを大切にすること。社会福祉士国家資格取得のため勉強中。

Q.3 どのような形でも、全ての人が幸せに暮らせる社会づくり=Well-being にかかわって行きたいです。

Q.4 多種多様な知識を学べるこの学部で、自分の未来を切り開いていこう！



澤元 由依 さん
3 年

Q.1 福祉・心理・地域の3 領域を学ぶことができる環境と緑いっぱいのキャンパスが気に入りました。

Q.2 障害、犯罪、高齢者など興味ある分野を学んでいます。

Q.3 温かい家庭を築くことです。

Q.4 他の学部 비해、学生数が少ない分、友達の輪が広がりますよ！



前原 宗明 さん
3 年

Q.1 人の役に立てる人間になろうと決心したから。

Q.2 仏教がいかに人を助けられるかについて。

Q.3 世界が平和になる手助けができるような、お金持ちになること！

Q.4 努力は必ず報われます。がんばってください。

カリキュラム

福祉・地域づくりを中心に、幅広い分野で活用できる基礎的な専門科目に加え、「フィールドスタディ入門」「ソーシャルワーク実習」「コミュニティスタディ実習」など、多彩なフィールドワークを用意しています。

学部共通科目 [1年]

- 基礎演習
- フィールドスタディ入門
- 現代福祉論

専門基礎科目 [1年]

- 地域問題入門
- 社会福祉概論
- まちづくりの思想
- 地域福祉論
- ソーシャルワーク I

専門基幹科目 [2～4年]

- 社会福祉原理
- 高齢者福祉論
- 障害者福祉論
- 児童福祉論
- ソーシャルワーク II
- 地域計画論
- 地域の歴史と文化
- ボランティアアクション
- 臨床心理学 I
- コミュニティ心理学 I
- カウンセリング I

専門展開科目 [2～4年]

ソーシャルポリシー分野

- 地域政策論
- 地方自治論
- 地方財政論
- 地域経済論
- 都市住宅政策論
- 人と環境
- 地域文化政策論
- 福祉行財政と福祉計画
- 保健医療サービス
- 権利擁護と成年後見
- 更生保護
- 社会保障論
- 公的扶助論
- 福祉国家論
- 国際福祉論
- 福祉の思想と歴史 I・II

コミュニティマネジメント分野

- 地域経営論
- 地域遺産マネジメント論
- 文化環境創造論
- 環境教育論
- 住民参加の手法
- 非営利組織の運営
- 社会起業論
- 地域ツーリズム
- レクリエーション論
- 都市とコミュニティ
- 農山村とコミュニティ
- 高齢社会とコミュニティ
- 居住福祉

- コミュニティアート
- コミュニティスポーツ
- スポーツマネジメント
- バリアフリー論
- 社会福祉施設経営
- 家族福祉論
- 生活問題論
- 社会福祉特講
- 精神保健福祉論 I・II
- 精神保健学
- 精神科リハビリテーション学
- 地域リハビリテーション

ヒューマンサポート分野

- ソーシャルワーク III
- コミュニティソーシャルワーク
- 介護福祉論
- ケアマネジメント論
- セルフヘルプグループ
- スクールソーシャルワーク
- 多文化ソーシャルワーク
- リハビリテーション概論
- 精神保健ソーシャルワーク I・II
- 精神医学
- 異文化心理学
- 教育心理学
- 家族心理学
- 学校心理学
- 障害者心理学
- 高齢者心理学
- 芸術療法
- 発達心理学

演習・実習 [2～4年]

- ソーシャルワーク演習 I～V
- ソーシャルワーク実習指導 I～III
- ソーシャルワーク実習
- コミュニティスタディ演習
- コミュニティスタディ実習指導
- コミュニティスタディ実習

- 精神保健ソーシャルワーク演習 I・II
- 精神保健ソーシャルワーク実習指導 I・II
- 精神保健ソーシャルワーク実習
- スクールソーシャルワーク演習
- スクールソーシャルワーク実習指導
- スクールソーシャルワーク実習

- 医療ソーシャルワーク演習
- 医療ソーシャルワーク実習指導
- 医療ソーシャルワーク実習
- コミュニティソーシャルワーク演習
- コミュニティソーシャルワーク実習指導
- コミュニティソーシャルワーク実習

- 企業・自治体インターンシップ
- 専門演習 I～III
- 卒業論文
- 英語専門演習 I・II

福祉コミュニティ学科で取得可能な資格

資格課程

- 社会福祉士 (国家試験受験資格)
- 精神保健福祉士 (国家試験受験資格)
- スクール (学校) ソーシャルワーク課程 (協会認定)
- 図書館司書
- 博物館学芸員

任用資格

- 社会教育主事
- 社会福祉主事
- 児童福祉司
- 身体障害者福祉司
- 知的障害者福祉司

教職課程

- 中学校教諭一種 (社会)
- 高等学校教員一種 (福祉)
- 学校図書館司書教諭

福祉コミュニティ学科

Q.1 人の役に立てる人間になろうと決心したから。

Q.2 仏教がいかに人を助けられるかについて。

Q.3 世界が平和になる手助けができるような、お金持ちになること！

Q.4 努力は必ず報われます。がんばってください。

前原 宗明 さん
3 年

伊藤 惇 さん
3 年

Q.1 福祉の仕事に興味を持っていたのと海外福祉研修に魅力を感じて。

Q.2 医療福祉と高齢者福祉について学んでいます。

Q.3 地域の人々から信頼されるソーシャルワーカーになること。

Q.4 自分の関心のあることにどんどんチャレンジできる素晴らしい環境。現代福祉学部で待っています！



石井 龍 さん
4 年

Q.1 経営を学びたいと思っていた時、地域経営というものが学べるこの学部に興味を持ったのがきっかけです。

Q.2 地域の歴史や文化を活用した「まちづくり」について学んでいます。

Q.3 地方行政の仕事など、「地域」に根付いた仕事がしたいです。

Q.4 長い戦いですが、最後まで諦めずに努力すれば、必ず良い結果が待っています。



Q.1 地域づくりの分野に興味を持ったのがきっかけです。

Q.2 農山村での地域づくりについて学んでいます。

Q.3 まだまだ未定ですが、地域密着系の仕事、行政でも何でも、農業に携わる仕事がしたいと考えています。

Q.4 やりたいことは、自ら行動に移さないと実現しません。興味を持ったとにかく参加してみることが大事！

福島 早紀 さん
3 年



Q.1 福祉について興味があり、また地域づくり分野、心理学分野もあわせて学べる環境があったためです。

Q.2 ゼミでは、地域福祉をテーマに、地域という少し広い視点で福祉を学んでいます。

Q.3 授業やボランティア活動で学んだことを活かして、特に高齢者・障害者の見守りにかかわる仕事をしていきたいと思っています。

Q.4 自分の意思次第で、大きく成長できる環境がここにはあると思います。

相澤 誠 さん
4 年



砂塚 英里 さん
3 年

Q.1 福祉を専門的に学びたかったことと、海外福祉研修制度があったから。

Q.2 少年非行を中心に児童福祉全般を学んでいます。

Q.3 家庭裁判所調査官を目指しています。

Q.4 やりたいことができるとても柔軟でアクティブな学部です。素敵な仲間や先生だけでなくさまざまな人と出会えると思います。



水柿 大地 さん
3 年

Q.1 過疎や高齢化の問題について学んでみたいと思ったためです。

Q.2 現在は、中山間地における地域づくりについて学んでいます。

Q.3 日本の中山間地域のあまりよくないイメージを払拭する仕事がしたいと思っています。

Q.4 志望する大学を選った時は、自分が大学で何をしたいのかをあらためて考えてみてください。



片瀬 元貴 さん
4 年

Q.1 地域活性に興味があった。地元の街を盛り上げたいと思いました。

Q.2 地域づくりのゼミに所属しています。出身地の名産品である七宝焼きで地域活性の方法を考えています。

Q.3 カッコいい大人になる！

Q.4 いつか受験という時期があつて良かったと思える日が必ず来ます！がんばってください！



福島 早紀 さん
3 年



臨床心理学科

CLINICAL PSYCHOLOGY

人間の「こころ」は、深く、繊細で、さまざまな側面を持っています。
そして、こうした「こころ」のありようは、私たちの生活に密接に関与しています。
臨床心理学科では、個人・家族・コミュニティにかかわる心理学について体系的に学んでいきます。

臨床心理を実践的に学ぶゼミナール

あるテーマについて10～20名程度の少人数で、第一線の現場に携わる教員の指導のもと徹底的に学びます。
4年間を通してゼミに所属することが必須です。

小野 純平ゼミ

人のライフサイクルにおける
生涯発達心理学と臨床心理援助



生涯にわたる人の成長について、生涯発達心理学の視点から捉え、その臨床心理学的援助について学習します。特に、家族とのかかわりを中心に、幅広く人の発達について見つめなおします。

久保田 幹子ゼミ

現代が抱えるテーマ
いじめ、虐待、ひきこもり、うつetc
と心理学的要因との関連



社会問題となっているテーマを選び、現状を理解するとともに、心理学的要因との関連・心理的援助について考えます。文献学習とともに、グループ発表・ディスカッションを通して問題を掘り下げます。

皆川 邦直ゼミ

精神発達の正常と異常



発達について興味のあるテーマについて年2回ずつ発表・討論しますが、そのため文献検索をして論文や著書を選びます。3年生の後期には4年生の就職活動や大学院・公務員受験の経験を聞きつつ学年間の交流を深めます。

【主なゼミナールのテーマ】●心理療法 ●こどもの発達とその心理的援助について ●人間性心理学とグループ療法 ●臨床心理の諸問題と援助を考える ●アニメ作品から学ぶ日本人の深層心理 ●子どもの心の世界と心理療法 ●精神発達の正常と異常

臨床心理の理解を深める実習・実験

高度専門職業人と研究者の養成を目的としています。
これら実習・実験は臨床心理関係の専門職に就いて社会で活躍するためにも必須の授業となります。

臨床心理実習



臨床心理学を中心とした心理学関連科目についてその理解を深めることを目的とした実習です。社会的活動にかかわるボランティアを行い、活動の報告書作成などを行います。

心理学基礎実験



心理学研究の基本である「実験法」を中心に、客観的データから人の心のメカニズムを捉える手法を学びます。さまざまなテーマから実験を行い、データを収集、解析していきます。

心理検査法

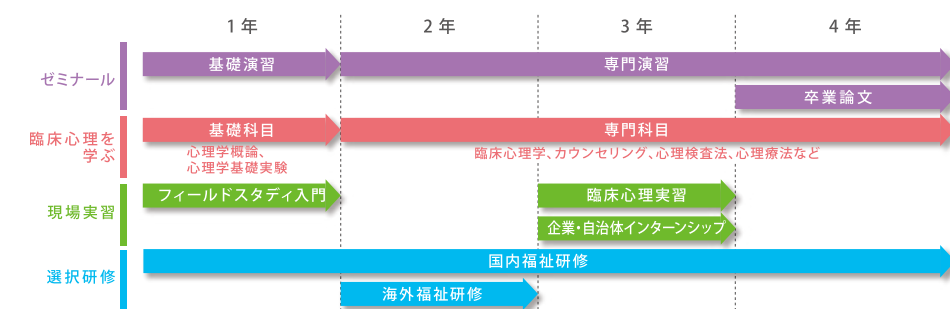


心理検査法の基礎理論を学ぶとともに、発達検査、性格検査、気分に関する検査、うつに関する検査など、代表的な検査法について正しい実施方法や検査結果の解釈について学びます。

【主な実習・実験】●臨床心理実習 ●心理学基礎実験 ●心理検査法
上記の他P8に記載している「企業・自治体インターンシップ」を実施しています。

演習・実習等の流れ

1～2年次は、講義と実験を通して臨床心理学の基礎を学びます。3～4年次は、実際に臨床心理の現場に触れ、実践感覚を磨きます。



自分自身の心とうまく付き合うことで
コミュニケーション能力が伸ばせる。

丹羽郁夫 教授

研究領域：コミュニティ心理学、臨床心理学

PROFESSOR INTERVIEW

●臨床心理学科とはどんな学科なのですか？

臨床心理学と心理学の大きな違い、それは人の「こころ」の動きを解明するのが心理学ならば、そこから一步踏み込み、問題を抱える心に変化を起こし、幸福で健康な生活を取り戻すための学問、それが臨床心理学です。臨床心理学科の特徴は、人を援助するさまざまなタイプのアプローチを学ぶことができることと、臨床現場を見学し、保育園や学校などに入って子どもたちを援助し、希望すれば心理療法を体験することもできることです。

●具体的にどんなことを学ぶのですか？

不登校、引きこもり、うつ病、また児童虐待や震災などによるトラウマなど、現代社会において心の問題は、大きく取り上げられてきています。臨床心理学科では、このような心の問題の原因、それを究明する心理テストなどの方法、この問題を軽減・解決する心理療法などの方法を学びます。また、臨床心理学は、臨床心理士やカウンセラーを目指すための学問ではありません。



自分自身の心ともっとうまく付き合うことができ、他の人とのコミュニケーション能力を伸ばせる学問でもあるのです。

●学生についてはどんな印象を持たれますか？

困っている人を助けたい、そんな気持ちを持った性格的にやさしい、バランス感覚のある学生が多いと思います。しっかりしたコミュニケーション能力を持っていることは企業に評価されています。1年次からゼミがあり、クラスの感覚ですから、仲がいいのも特徴ですね。

●受験生に向けて一言

人の「こころ」とその援助に関心のある皆さん。臨床心理学ではその「こころ」を理解し、援助する多くの考え方と方法を、講義だけでなく体験を通して学ぶことができます。悩みを抱えた人だけでなく、自分自身の内面についても理解を深めることができます。それは、おそらく卒業後の進路を決定し、社会で重要な役割を果たしていく上で、大きな基盤となると。また、ここで学んだことは職場や地域社会などをより良いものにするにも役立つでしょう。

在学生 VOICE!

現代福祉学部の在学生に聞きました

Q.1 入学志望動機

Q.2 今、学んでいること

Q.3 将来の夢

Q.4 受験生に向けて

佐藤 友香 さん
4年

Q.1
臨床心理士になるために、臨床心理学を勉強したかったからです。

Q.2
ゼミやフィールドワークを通して、発達障害について学んでいます。派遣留学生としてカリフォルニアに留学する予定です。

Q.3
臨床心理士

Q.4
現代福祉学部はアットホームで、実践的な学びができる、楽しい学部です。

Q.1
心の問題を抱えてる人や、その家族の支援について学びたいと思ったからです。

Q.2
児童虐待について学んでいます。被虐待児やその家族の心のケアについてです。

Q.3
臨床心理士として、子どもや家族の心のケアにかかわれる仕事がしたいです。

Q.4
がんばってください!

永野 美涼 さん
3年

湯本 大樹 さん
4年

Q.1
臨床心理学という言葉の響きにつられて。

Q.2
ヒトの心を科学する、臨床心理学。

Q.3
世界的視野の形成

Q.4
ぼんやりとした動機でも、あなたに役立つ学びがきっとあるはずです。是非!

Q.1
自分が何に興味があるのかわからず、幅広い分野を勉強できると思い決めました。

Q.2
ゼミで心理学を中心に勉強しています。

Q.3
たくさん海外に出かけ、多くの経験がしたいと思っています。

Q.4
みんな仲が良く楽しい学部です!

杉浦 雅美 さん
4年

臨床心理学科

石川 龍太郎 さん
4年

Q.1
とにかく心理学を勉強したかった。

Q.2
臨床心理学を実践的に勉強しています。

Q.3
情報革命で人々を幸せにすること!

Q.4
ここはやりたいことがきつと見つかり、行動できる環境です。是非がんばってください。

Q.1
臨床心理学について学んでみたいと思ったことがきっかけです。

Q.2
現代における、さまざまな心の問題について学んでいます。

Q.3
臨床心理士として働くことを目指しています。

Q.4
努力は必ず報われます。がんばってください。

鹿野 恭平 さん
3年

カリキュラム

体系的に心理学を学ぶために、「心理学概論」「心理学基礎実験」などの基礎的な心理科目に加えて、「臨床心理学」「カウンセリング」「精神分析学」など幅広い臨床心理系科目と教授陣が揃っています。

学部共通科目 [1年]

- 基礎演習
- フィールドスタディ入門
- 現代福祉論

専門基幹科目 [2~4年]

- 臨床心理学 I
- 心理検査法 I
- カウンセリング I
- 精神医学
- コミュニティ心理学 I
- 社会福祉原理
- 高齢者福祉論
- 障害者福祉論
- 児童福祉論
- ソーシャルワーク II
- 地域計画論
- 地域の歴史と文化
- ボランティアアクション

専門展開科目 [2~4年]

臨床心理分野

- 心理検査法 II
- 臨床心理学 II
- コミュニティ心理学 II
- 精神分析学
- 発達臨床心理学
- 児童精神医学
- 比較心理療法
- 投映法特論
- グループアプローチ
- カウンセリング II
- 人格心理学
- 芸術療法
- 家族心理学
- 障害者心理学
- 高齢者心理学

教育・社会心理分野

- 教育心理学
- 学校心理学
- 異文化心理学
- 社会心理学 I・II

認知・学習心理分野

- 心理測定法 I・II
- 学習心理学
- 認知心理学 I・II
- 精神生理学 I・II

精神保健・福祉分野

- セルフヘルプグループ
- スクールソーシャルワーク
- 家族福祉論
- 精神保健ソーシャルワーク I・II
- 精神保健福祉論 I・II
- 精神保健学
- 精神科リハビリテーション学

演習・実習 [2~4年]

- 臨床心理実習
- 臨床心理実習指導
- 企業・自治体インターンシップ
- 専門演習 I~III
- 卒業論文
- 英語専門演習 I・II

臨床心理学科で 取得可能な資格

資格課程

- 認定心理士 (学会認定資格)
- 図書館司書
- 博物館学芸員

任用資格

- 社会教育主事
- 社会福祉主事
- 児童福祉司
- 身体障害者福祉司
- 知的障害者福祉司

教職課程

- 高等学校教員一種 (公民)
- 学校図書館司書教諭

Q.1
1年から専門科目を学ぶことができるから。

Q.2
児童の精神病理、臨床心理学の基礎知識。

Q.3
臨床心理士になって発達障害や虐待などで苦しんでいる子どもを救うこと。

Q.4
現代福祉学部は、やる気に応じてくれる先生方と環境、カリキュラムが整っています。法政で夢を現実に変えてください。

須田 真利江 さん
3年

池上 瑞稀 さん
4年

Q.1
臨床心理に興味があり、それを学ぶことで自分のためになるような大学生活を送りたかったからです。

Q.2
臨床心理学です。

Q.3
素敵な人生を送ることです!

Q.4
現代福祉学部は本当に満足度の高い学部です。勉強は大変だと思いますが、自分のペースでがんばってください!

廣瀬 りえ さん
3年

Q.1
心理学や福祉に興味があり、自然豊かな法政大学で学びたいと思ったから。

Q.2
臨床心理学で児童福祉など自分の好きな授業を中心に履修しています。

Q.3
虐待やネグレクトなど問題を持つ家庭をサポートしていく仕事がしたいです。

Q.4
受験勉強は辛いと思うけど、大学に入ると楽しいことがたくさんあります!

相澤 了太 さん
3年

Q.1
漠然とですが、心理学という分野に興味があったため。

Q.2
児童心理学のさまざまな事例について楽しく学んでいます。

Q.3
英語をつかう仕事に就きたいと考えています。

Q.4
がんばってください!

一色 貴史 さん
4年

Q.1
高校生の時、心理学に興味を持ち、学んでみたいと思ったため。

Q.2
心理学、精神分析について学んでいます。

Q.3
自分のやりたいことをして過す!

Q.4
ぜひ法政大学での生活を楽しくしてください。

照本 麦子 さん
3年

Q.1
臨床心理に特化したカリキュラムに魅かれ志望しました。

Q.2
ゼミではジブリ作品を通じて心理学を学んでいます。

Q.3
ここで学んだことを活かして、心理臨床の場で働けたらと思っています。

Q.4
福祉、地域、心理の3つの軸で多くを学べる学部だと思います。がんばってください。

Q.1
ホームレス支援のボランティアにかかわっていたり、貧困問題に関心があったため。

Q.2
社会福祉士に向けた勉強と精神分析学について勉強しています。

Q.3
社会福祉士や心理に関係する現場で、対人援助にかかわる仕事をしたい。

Q.4
目的意識を持って挑めば、モチベーションが続くと思います。

上田 憲太郎 さん
4年

Q.1
心理学について学んでみたいと思い、ここを選びました。

Q.2
ゼミでは自律訓練法や心理学の英文の訳などを中心に学んでいます。

Q.3
民間の企業に就職し、自分の力を活かしていきたいと思っています。

Q.4
現代福祉学部はとても過ごしやすい環境なので、勉強も遊びも全力で取り組むことができます!

峯田 聡 さん
3年

光野 絢香 さん
4年

Q.1
臨床心理学、福祉、地域づくりの3領域を自由に学ぶことができる環境が魅力的でした。

Q.2
臨床心理学について幅広く学んでいます。

Q.3
誰かのために一生懸命働くことができる社会人になることです。

Q.4
考えることで必ず成長できると思います。がんばってください。

海外福祉研修

Well-beingの先進国の現場を、自らの目で確かめる旅。

夏休み期間中に実施する現代福祉学部独自の海外研修制度です。Well-beingの先進国であるスウェーデンなど、海外の福祉や心理にかかわる施設を訪れ、現地のまちづくりや文化を学びます。毎年、2年生を中心に、希望者の中から選抜された30名が参加。研修費用の60%、上限20万円まで支給される奨学金制度もあり、充実したサポートの中、毎年、多くの学生が参加をしています。

異文化に触れ、人と出会い、学ぶ。 想像以上に多くのものが得られた研修でした。

福祉の現場はもちろんでしたが、海外文化にも興味があり参加を決めました。経験のないヨーロッパでの研修にとっても魅力を感じました。実際、海外福祉研修に参加をして、本当に素晴らしい経験をしたと思っています。自分の福祉に関する知識の足りなさを実感することができましたし、ストックホルム大学生と実りある交流を体験することもできました。はじめは言葉の問題から、なかなかコミュニケーションをとることができませんでしたが、時間とともに仲良くなることができ、自由時間ではいろいろな場所に案内してもらいました。帰国してからも彼らとは連絡を取り合っています。異文化に触れ、人と出会い、学べる、収穫の多い研修だったと思っています。



岩附 亮太さん
3年



たくさんの経験で、 新しい夢を見つけることができました。

海外に、ヨーロッパに行ってみたい!そんな単純な動機で参加を決めた研修でしたが、自分を成長させることができ、大変勉強になった研修でした。異なる文化における福祉現場、考え方、あり方を知ることができました。例えば、「家族」「社会」の認識の違い、考え方です。福祉先進国といわれるスウェーデンの人々は、私たちが家族を見る目と同じ感覚で、まわりの人を支えており、社会が大きな家族であるという認識を持っているのです。それは大きな驚きでした。今回の研修で、今後も海外のいろいろな国へ行き、国際交流に挑戦し、自分の幅を広げていきたいと思うようになりました。たくさんの経験をし、感性を磨き、情報の発信者になりたい、という夢を持つこともできました。



新田 朝子さん
3年



国際的なコミュニケーション能力を身につける

外国語教育

現代福祉学部では、英語・中国語のいずれかを選択し学習していきます。実践的な学習の中で、読解力、意思伝達能力を磨き、国際的なコミュニケーションをはかることができる人材を育成していきます。

インテンシヴ・イングリッシュ

国際的な職業に就くことを目指す学生を対象に、TOEFL®のスコアをアップさせることを目的とした授業です。ネイティブ・スピーカーの講師によってすべて英語で授業が進められ、英語に対する苦手意識を取り除くとともに、英語圏の文化習慣についても学びます。



海外派遣留学

グローバルな学びをサポートする国際教育プログラム。



2・3年生の応募者の中から選考のうえ、3・4年次に奨学金を支給し、法政大学が協定を結んでいる大学(海外14カ国・30地域)に1年間派遣する「派遣留学制度」があります。語学力を磨き、専門知識を習得し、国際人としての感覚を育てる教育プログラムです。



心のケアのプロフェッショナルを目指して。

留学先には、心理学の先進国であるアメリカ、ペイラー大学を選びました。大学の友人、ホストファミリーにも恵まれ、大変有意義な留学生活を送ることができました。また、海外から改めて日本を見ることができたのも良い経験となりました。法政大学の留学支援制度は、経済的にも精神的にも大きなサポートがあり大変助けられました。この経験を活かし、将来的には、心理カウンセラーなど心のケアに関する現場で働きたいと考えています。



中野 恵さん



TOPICS

2011年度の夏に被災地で復興支援プログラムを実施しました。

東日本大震災の被災地から学ぶ。

東日本大震災発災後の2011年8月、現代福祉学部は被災地支援の1つとして岩手県遠野市と連携したプログラムを実施しました。グループ毎の事前学習の他、講義では現地コミュニティでの復興に向けた取り組みなど「社会福祉」の視点、岩手県遠野市が津波被害を想定し掲げてきた沿岸被害地域の後方支援拠点の構想等「地域づくり」の視点、被害に遭われた方の心のケアでは臨床心理学の視点など多方面から被災地へのアプローチを試みるとともに、福祉コミュニティ学科・臨床心理学の壁を越え、「すべての人の健康で豊かな暮らし=“Well-being”」の実現を教育理念とする現代福祉学部の学生一人一人が「自分たちに何ができるのか」を現地に滞在しながら見、聞き、汗を流し考える体験をしたプログラムです。



人のやさしさ、強さを再発見できた活動でした。

最初に被災地に入った時の衝撃は、本当に言葉にならないものでした。ここは本当に日本なのかと目を疑ったほどです。瓦礫の撤去が主な活動でしたが、遠くから見ると単なる瓦礫であっても、近くに行ってみるとその瓦礫から人々の生活のあとを感じ、心がとても痛みました。活動中、「ありがとう」と声をかけてくれる地元の方、そして復興を目指し働く現地の人々の力。目には見えない、けれど力強い「思い」を感じることができました。他では得ることのできない、大きな経験をすることができたと思います。



渡邊 祥平さん

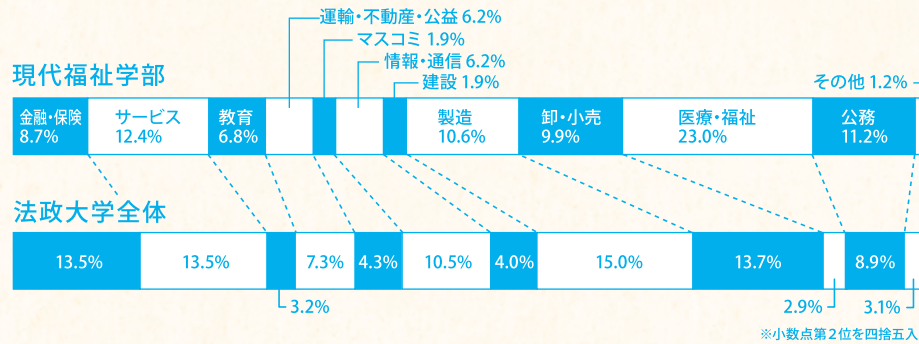
進路

未来が無限に広がる多様な進路選択。

就職

先輩たちは、民間企業・公務員・各種専門機関など、多くの分野で幅広く活躍中。現代福祉学部で培われた知識・技術や問題解決力が、社会のさまざまな場面で役立っています。他学部 비해、公務員の割合が多いのも現代福祉学部の特徴です。

●業種別進路(2011年度)



●現代福祉学部生の主な就職先(2011年度)

●民間企業

富士通、中村屋、大鵬薬品工業、ノバルティスファーマ、ヤンセンファーマ、興和、東日本電信電話(NTT東日本)、西日本電信電話、ソフトバンクグループ、三菱東京UFJ銀行、八十二銀行、山梨中央銀行、ゆうちょ銀行(日本郵政グループ)、城南信用金庫、東京信用金庫、中央労働金庫、日立キャピタル、東日本旅客鉄道(JR東日本)、西武鉄道、全日本空輸、住友不動産販売、東急ホームズ、クラブツーリズム、郵船トラベル、全国農業協同組合連合会

●医療・福祉法人等

日本赤十字社、社会福祉法人県央福祉会、社会福祉法人国立市社会福祉協議会、社会福祉法人東京都福祉事業協会、公益財団法人東京都保健医療公社、医療法人沖繩徳洲会湘南鎌倉総合病院、医療法人社団東光会東所沢病院、社会医療法人財団仁会牧田総合病院、ツクイ、ニチケアパレス、ベネッセスタイルケア、帝人在宅医療

●公務員・学校・非営利団体

厚生労働省(労働局)、富山県庁、東京都特別区役所(荒川区、大田区、世田谷区)、市役所(横浜市、川崎市、八王子市、町田市)、日本年金機構、独立行政法人国立病院機構東京医療センター、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構、東京都教員、大学職員

大学院

現代福祉学部卒業後は、大学院(人間社会研究科)で研究や技能の取得ができます。人間社会研究科は、多摩キャンパスに設置されており、大学院生研究室が1号館総合棟に整備されています。なお修士課程の選抜にあたっては、両専攻とも、一般選抜の他、学内選抜も用意されており、多くの現代福祉学部卒業生が進学しています。

臨床心理学専攻は、(財)日本臨床心理士資格認定協会の第1種指定大学院です。

●大学院生からのメッセージ 学内選抜での進学メリット

現代福祉学部、臨床心理学科で学び、将来的には臨床心理に携わる専門職に就きたいと考え、学内選抜を受験しました。大学院での授業は、専門性が高くなり、難しく大変なことも多いですが、今までと同じ多摩キャンパスの環境で、自分のことを知り、理解していただいている先生方に指導いただき、勉強できることは大きなメリットだと感じています。一般選抜に比べ、試験科目が少ないということは、学部での4年間の授業態度をしっかりと見ていただいていたということ。それは臨床心理の道に進むための資質を評価されたとも思えます。今、自信と安心を持って大学院生活を送っています。

修士課程 2年

- 社会福祉や地域づくりの研究

福祉社会専攻(定員15名)

- 臨床心理の研究や臨床心理士資格取得

臨床心理学専攻(定員15名)

博士課程 3年

- 福祉・地域づくり・臨床心理の研究

人間福祉専攻(定員5名)

中時 綾子さん
大学院人間社会研究科
臨床心理学専攻



教員紹介

第一線の現場に携わる教員が指導。



中村 律子 教授
現代福祉学部学部長
高齢者福祉

ウェルビーイング(健康で幸福な暮らし)を社会福祉・地域づくりの観点から実現するために「福祉コミュニティ学科」を、臨床心理の観点からウェルビーイングを実現するために「臨床心理学」を新設しました。新たな2つの学科設置によって、幅広くウェルビーイングを学びながら、同時に福祉サービスや地域創造、臨床心理学について、より深く、専門的に学べるようになりました。現代福祉学部では未来に向けて、日本の社会が抱えているさまざまな課題を解決するための方策や考え方が用意されています。これからの日本の社会は、私達が今までに経験したことのない大きな改革の波に直面することでしょう。こうした事態に対応し、新しい社会がかかえる課題や人間の心の問題を理解していくために、現代福祉学部では多様な教育と研究の場を用意しています。皆さんが大学の4年間の生活や体験、あるいは新しい人との出会いを通じて、そして勉強はもちろんのこと、ボランティア活動やサークル活動で社会とのかかわりを通じて、視野を広げていくことを期待しています。



石井 享子 教授
ケアマネジメント論、保健福祉学、ウェルビーイング



石川 郁二 教授
英文学



岩崎 晋也 教授
福祉理論、福祉思想



岩田 美香 教授
児童・家族福祉論、教育福祉論



大山 博 教授
福祉政策



岡崎 昌之 教授
まちづくり、地域経営



小野 純平 教授
臨床心理学、心理検査学、心身障害学



久保田 幹子 教授
森田療法、心理療法、心理査定



清水 幹夫 教授
臨床心理学、カウンセリング心理学、パーソンセンタードセラピー



末武 康弘 教授
カウンセリング・心理療法の研究



長山 恵一 教授
比較精神療法、精神医学



丹羽 郁夫 教授
コミュニティ心理学、臨床心理学



馬場 憲一 教授
文化環境政策論、文化遺産学



水野 雅男 教授
市民活動運営論、地域経営論



皆川 邦直 教授
児童精神医学、精神分析的発達臨床心理学



宮城 孝 教授
地域福祉方法論、社会福祉援助論



伊藤 正子 准教授
社会福祉方法論、社会福祉援助論



佐藤 麻美 准教授
ソーシャルワーク論



図司 直也 准教授
農業経済学、地域資源管理論、農村政策論



高取 康之 准教授
異文化コミュニケーション



保井 美樹 准教授
都市・地域計画論、計画行政



李 恩心 助教
都市・地域計画、都市政策



大島 隆代 助教
社会福祉援助論



佐藤 篤司 助教
精神分析学



森田 和美 助教
精神保健福祉、ソーシャルワーク



TAMA CAMPUS

キャンパス紹介

緑豊かで自然があふれる多摩キャンパス。



多摩キャンパス



現代福祉学部棟とプレイグラウンド



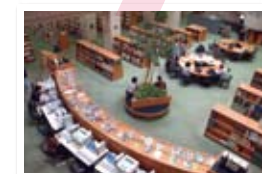
ボランティアセンター



EGG DOME(学生厚生施設)



学部棟内カフェラウンジ



多摩図書館



コンピュータ教室



多摩総合体育館

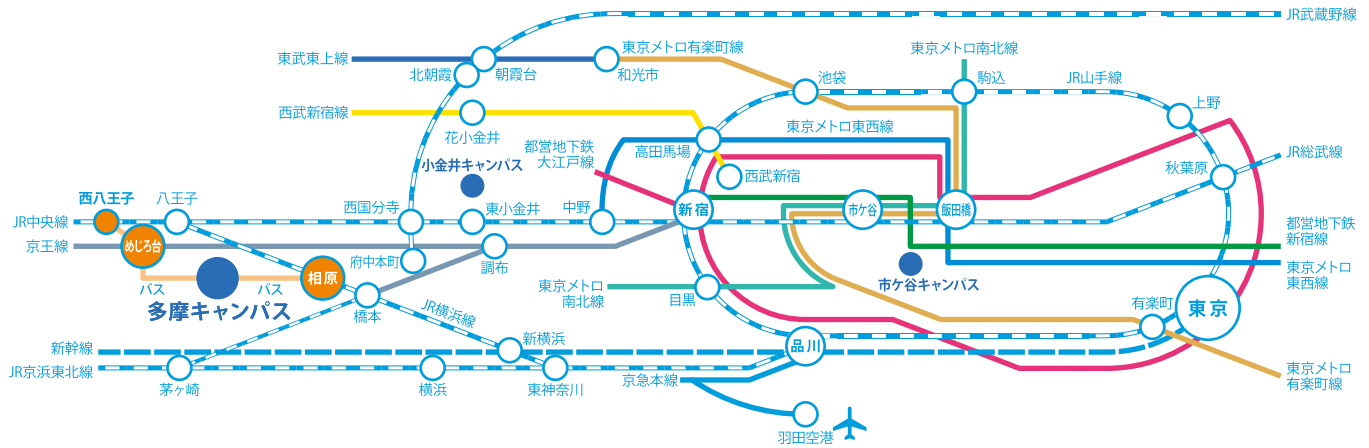


グラウンド



現代福祉学部教室

* Access



- JR中央線** 新宿駅から快速で54分(特別快速で42分)、西八王子駅下車
バス約22分(「法政大学」下車)
- JR横浜線** 新横浜駅から38分、相原駅下車
バス約13分(「法政大学」下車)
- 京王線** 新宿駅から準特急で40分(急行50分)、めじろ台駅下車、
バス約10分(「法政大学」下車)

* Campus Map



法政大学 | 現代福祉学部

福祉コミュニティ学科 臨床心理学科

〒194-0298 東京都町田市相原町4342
TEL.042-783-2806 / FAX.042-783-2808

法政大学現代福祉学部

検索

www.hosei.ac.jp

学科紹介ムービーがWebでご覧いただけます。

PRINTED WITH
SOY INK™